

歴史の福井谷ウォークツアー 残念 雨で計画縮小

昨年は「来てみんな やってみんな 原始の谷」として福井洞窟、直谷岩陰遺跡を中心に、火起こしや石器づくりを実体験として実施しました。(参加者 14 名、スタッフ 13 名)

本年度は第 2 回として「歴史の福井谷ウォークツアー」として 10 月 24 日に計画。直谷城（内裏城）の地形やいわれのある場所を中心にした歴史体験、福井洞窟の案内がその主な内容でした。歴史体験としては「戦飯（いくさめし）づくり」と「弓矢・射的」を準備していました。

しかし当日は早朝からかなりひどい雨が降り、中止もやむなしという状況でした。朝早くから飯の炊き出しやめざしなど戦飯の準備も進められていました。

そこで、「ウォーキング」を取りやめ、直谷公民館で「直谷城」に伝わる歴史を、ガイド役の和田さんから話してもらうことで、このイベントを実施しました。又、小雨を縫って城主の墓を訪ねました。(参加者 4 名、スタッフ 9 名) 来年こそは、木漏れ日を受けながら、直谷城址を歩き回りたいものです。



ツアー参加者



戦飯



↑ 10/23 直谷城の草払い

イベントのための周知な準備

このイベントのために、直谷城址の草払いや、弓づくり等の準備を行いました。

○10月16日(土) 直谷城址の草払い

朝 9 時からということでしたが、「都合」で朝 6 時過ぎには天守台の広場の草払いをした“つわもの”がいます。広場はススキなどが一面覆っていました。その作業の大変さは想像に余りあるものだったと思います。

9 時からは 3 名が参加。大手門から草を払いながら登りましたが、それだけでも昼近くになるほどの大変さ。しかし、木枝を払った後に見下ろした福井谷の光景は壮観で、疲れも消え失せました。

○10月23日(土) 弓づくり等前日準備

前日には、和田さんのお宅をお借りして、弓づくりなどが行われました。参加者は 4 名。弓の他水筒もできていました。また、食事チームもその準備のために出かけています。

次期は、晴天の中で、歴史と吉井の豊かな文化と、エコツーリズムの発想を余すところなく発揮したいものです。